

「ゆめファーム全農SAGA」について

○事業概要

農業従事者の減少や高齢化等による野菜生産の縮小に対して、産地の維持形成及び付加価値の高い農業を推進するため、佐賀市ではJA全農（全国農業協同組合連合会）、JAさがと連携し、大規模環境制御型園芸実証施設「ゆめファーム全農SAGA」を設置しました。

さらに、「ゆめファーム全農SAGA」をモデル拠点として普及拡大を図ることで、生産性の高い施設園芸の導入・展開を目指す。



○建物概要

（1）施設の特徴

- ・佐賀市清掃工場から発生する**排熱蒸気**をハウス内の暖房として利用
さらに、同工場にて発生する**炭酸ガス（CO²）**を植物に施用し**環境循環型農業**を実践
- ・県内における慣行栽培方法である**土耕栽培区**と、ロックウールを培地とした**養液栽培区**を設け、それぞれの収量・作業性・費用などを分析
※ロックウールとは…鉱物から人工的に作られた繊維のこと。通気性や保水性があり、資材としても軽く扱いやすいことから農業用の培地として使われている。

（2）場所

- ・佐賀市高木瀬町大字長瀬（佐賀市清掃工場隣接地）

(3) 施設概要

- ・施設面積：約1 ha
- ・ハウス形式：ダッチライト型高軒高鉄骨ハウス（軒高5.0m）

○栽培概要

- ・栽培品目：キュウリ専作
- ・栽培方式：土耕栽培
ロックウール養液栽培
- ・栽培面積：土耕区 42.5 a、養液区 44 a
- ・目標収量：土耕 45 t /10 a、養液 50 t /10 a

○高度な環境制御技術の導入

経験や勘だけでは分からない温度、湿度、炭酸ガス濃度等の環境データを数値化し、IT等を活用した栽培管理などで、増収や病害抑制、品質の向上に結びつけるハウス内環境をつくる技術の導入

○収量実績

- ・1年目（R2.1～12月）55.6t/10a（土耕54.7 t /10a、養液56.2 t /10a）
 - ・2年目（R3.1～12月）50.0t/10a（土耕47.0 t /10a、養液52.7 t /10a）
 - ・3年目（R4.1～12月）50.4t/10a（土耕45.5 t /10a、養液55.0 t /10a）
- ※1年目で全国平均約4倍の55.6 t /10a（国内最高記録）を達成